

(別紙様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	消費・安全局 農産安全管理課	連絡先	03 - 3591 - 6585
所管する業務の概要	農産物の安全を確保するための農業生産段階におけるリスク管理措置の企画立案と実施 [具体的内容] ① 農薬、肥料の登録、製造・販売の指導・取締及び適正使用指導 ② 汚染物質・病原微生物の農産物中の実態の把握と汚染低減対策 ③ 遺伝子組換え農産物の生物多様性への悪影響を未然防止するための承認とモニタリングの実施		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・接遇マニュアルに基づき、笑顔で、はきはきとした口調で、丁寧な説明をするなどの対応を心がけている。電話での問い合わせについても、こちら側の担当者が不在の場合には、相手の了承のもと、こちらから改めてかけ直すよう心がけている。	・引き続き、相手に失礼なく好感を抱いて頂けるような接遇に努めてまいりたい。 ・言葉使いや態度等について、職員相互で助言する環境づくりに努める一方で、円滑な改善が図られるよう、接遇マニュアルを手元に置く。
・「政府の総合窓口」など国民からの各種問合せに対する回答をデータベース化し、国民への情報提供の迅速化及び改善を実施した。	・関係者・消費者等の関心事項について、丁寧な情報提供を行う目的で作成しているQ&Aについては、一部の業務で作成が終了し、引き続き、完成に向け努力する。
・農産物の安全性に関する省内外の研修に講師を派遣し、当課の施策等の情報を提供するとともに、講師の説明能力の向上に努めた。	・説明能力の向上を図る観点から、今後、説明会等の講師を積極的に引き受けるよう、職員を促す。
・課内関係者を対象とした勉強会を開催し、職員の科学的な資質の向上に努めた。	・職員の更なる資質向上のため、前年度より頻繁に勉強会を開催する。

- ・正しい情報を分かりやすく伝えられるよう、各自専門的な知識の向上に努めている。
- ・農林水産省のホームページ等を日々確認することで、省全体の施策・事業を把握するよう努めている。

- ・新聞や学会発表、インターネット等から最新の情報や動向の把握に努める。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・定期的に開催している都道府県の担当者等が参集する会議や、消費者との懇談の場を活用して意見交換をしている。また、地方出張の際には可能な限り現地におもむき、農業者や食品事業者等とも意見交換をしている。 ・実態調査の実施にあたっては、必要に応じて現場に赴き直接関係者に説明を行っている。	・引き続き、さまざまな機会をとらえて、都道府県や農業者等の関係者及び消費者と引き続き意見交換を実施していきたい。 ・勉強会・意見交換会を通じ、取締業務が現場から乖離していないか等の確認に努める。
・より責任感ある仕事を実施するため、普段から責任の所在を明確にした上で、担当業務に臨むように努めている。	・承認等に関する手続きが変わったことから、今後とも関係者とより一層連携を図ってまいりたい。 ・「コミュニケーションの手引き」を参考に、プレスリリース等の内容を、より理解しやすい表現となるよう工夫する。 ・問題の発生を未然に防止するため、課内だけでなく、課外のヒヤリ・ハット事例も積極的に収集する。

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・業務にあたって疑問が生じた場合等には、互いに相談したり、議論するなど、活発に意見交換を行っている。 ・同僚の業務の進捗状況についても把握し、目標の達成に向けた進捗管理、必要に応じてフォローを行っている。	・業務の効率化のため、書庫等の書類・ファイルの整理方法を統一化する。 ・「風通しが悪い」という意見を風通しよく言えるような雰囲気作りと、各自、業務を進める上でのバックボーン形成に努める。 ・適時、お互いに「褒めて伸ばす」、研修等の参加による知的好奇心の刺激や懇親会等の参加による幅広い人脈形成にも積極的に努める。 ・会議での説明や講演などの業務にも、担当者だけでなく若手も積極的に参加できるよう、業務の担当等を検討していく。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・前年度に実施した業務再点検結果等を基に、今年度上半期の業務計画を策定した。	・引き続き、業務計画の実施状況や評価結果を適切に次期の業務計画に反映させる。
----- ・前年度に引き続き、チームプレーを重視した業務推進を図るため、課内で班を超えた検討グループを作り、危害要因のリスク管理の方針等について情報共有、議論を行うとともに、定期的に勉強会を実施する等、組織としての科学・技術力の向上に努めている。	----- ・新規採用者等に配慮しつつ、前年度から発展した内容で、班を超えた勉強会等を計画的に実施し、チームプレーの意識を醸成していきたい。